

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

脱炭素社会の実現へ向けた取り組みとして、エネルギー使用量の削減を行い、CO²排出量の低減を実践する。さらに森林保全活動において森林サイクルを円滑に循環させて豊かな森林を未来につなげるための活動を行う。森林整備を進めていく中で、生物多様性保全・水源保全・土壌保全を行い、社会の課題解決にも大きく寄与していく。一方で森林資源を最大限に活用し、木材製品製造において、より良い品質の向上を図り安心・安全な木材製品の製造を行うことで地域社会に大きく貢献していく

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
○環境 ○社会 ●経済	木材製品の生産に占める国産材の割合 100%を目指し、森林の有する多面的機能を持続的に循環させながら地域経済の活性化に繋げる。	木材製品の生産に占める国産材の割合を 100%目標に掲げる。2021年100%→2024年度目標 100%を維持
●環境 ○社会 ○経済	木材製品の乾燥は乾燥窯を使用せず、自然乾燥を行うことで、CO ² 排出ゼロを目標とする	木材製品 100%自然乾燥を行う。2021年度 100%達成→2024年目標 100%を維持
○環境 ●社会 ○経済	【ほほえみの森】森林整備・森林保全活動を県内各地へ広げる活動を継続的に行う。	山林の間伐による森林整備・森林保全に努める。2021年度 19.46ha 間伐→2024年度までに更に 30ha 間伐を目標とする

<パートナーシップ>

木材製品生産のために使用する原木は、国産材の安定的な木材需給の為に仕入先である原木市場や森林組合と連携を密にしている。また森林保全活動において、熊本県林業経営者協会【健全な森を育む林業経営者】の会員として熊本県から認定を受け、森の担い手として森林整備を進めている。

- ・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

<SDGsに関する重点的な取り組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取り組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取り組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。